

# SSKO

社会福祉法人 はらからの家福祉会

# われら同胞

NO.56



☆☆☆ 目次 ☆☆☆

- 2 p ベルギーに学ぶ精神医療改革～キーワードは「コ・プロダクション(Co・Production)」～
- 3 p 貸借対照表
- 4 p 決算報告
- 5 p さつき東元町商店会・AnnBee 合同旅行報告・プラッツ旅行報告
- 6 p 賛助会コーナー

## ベルギーに学ぶ精神医療改革「キーワードは「コ・プロダクション」(Co-Production)」

はらからの家福社会 理事／総合施設長 伊澤雄一

以前からお伝えしておりますが、わが国の精神科病院(病床)の圧倒的な多さは国際的に群を抜いており、人口1万人に対して27のベッド、全国1,600ほどの病院に32万というベッド数です。これはダントツ世界一であり、また「社会的事由による入院」というように、治療用途というよりは、退院後の生活条件が整わないための長期入院の例が多く、居住権や生活権の侵害という、人権擁護の観点からも国際的に批判的となっております。

このような状況がなかなか是正、改善しない背景として、大きくは民間による精神科病院経営という実情があります。構造物としての病院に患者や医療スタッフを集積することによって成り立つ入院精神科医療です。患者が減り、ベッドが空けば経営は厳しさを増すことから、新規患者の獲得とともに空きベッドを作らない、つまり退院の動きを抑制するということが、民間精神科病院にとって営業課題として重要という構造となっています。わが国は実に精神科病院の9割が民間。一方先進諸外国は9割が公立医療で、医療政策の変更がすぐに反映され、ベッド削減も国策として実施してきました。

このようなやるせない現状に、光明がもたらされる瞬間を垣間見ました。

実は欧州の小国ベルギーという国は、国情が日本と酷似しており、わが国同様に民間病院が主力で、病床の削減は進まず、改革を進めてきた周囲のヨーロッパ諸国から「EUのお荷物」と揶揄されてきたとのことです。しかしここ20年ほどで病床数を減らし、つまり病院を閉鎖し、入院医療スタッフを地域医療の担い手として再編成し、モバイル型の地域医療支援を推し進めてきているのです。

このような、医療の体質を大きく変える契機は何だったのか。

精査してみると、日本語で「共同創造」と称される「コ・プロダクション」(Co-Production)の手法を導入し改革を進めたという事実に至りました。

「コ・プロダクション」(Co-Production)とは、きわめて大雑把な表現となりますが、課題に向かう協議の場において、提供側とそれを利用する側が同じような人数構成で、そして対等な立場で議論を交わしながら合意に基づく方向性を見出すという手法です。ベルギーの精神医療改革においては、改革の検討協議の場に、医療や福祉の提供側と利用する患者・家族が同数参集し、厳しい議論において、主張と譲歩とを繰り返しながら、なんとか合意点を見出し、そしてそれを受けた行政が、

ためらうことなく施策を打つことにより改革を進展させているとのことです。

なるほど、こういうことであれば揺らぎのない施策が展開されるでしょう。立場を超越した大いなる納得が存在しているのです…。

一方わが国はどうでしょう。国の審議会・検討会などを見ても、支援の提供側が圧倒的多数であり、利用する側はごく少数で、「利用者からの声を聞きましたレベル」の参加です。これでは提供側の論理に押され、提供側の視点からの施策になる傾向がいやがうえにも強まり、利用する側の想い、ニーズは満たされなままです。そして、こういう構造の下では、行政も思い切った施策を打つことが困難ともなりましよう。

今回ベルギーの改革の内容に触れ、わが国の混迷状態を突破する方策を、実例をもって知ることができました。もちろん人口1,400万の小国での出来事、当然文化的背景も異なることから、そのままの導入ではないにせよ、基本的な要素としての共同創造(コ・プロダクション)。これが大いに学び、そして導入の方向を持つべきだと強く思うのです。

はらからの家福社会 理事／総合施設長

伊澤雄一

6月6日開催された理事会及び6月20日開催された定時評議員会において、平成30年度決算が承認されました法人全体の決算書(財務3表)をお知らせ致します。  
両日共に丹野監事から監査報告があり、承認されております。

## 貸借対照表

平成31年3月31日 現在

社会福祉法人 はらからの家福祉会

単位:円

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
流動資産	127,936,994	113,186,089	14,750,905	流動負債	10,183,082	10,012,321	170,761
現金預金	97,440,881	85,372,102	12,068,779	事業未払金	220,258	248,164	△ 27,906
事業未収金	26,508,863	23,832,209	2,676,654	1年以内返済予定 設備資金借入金	300,000	1,200,000	△ 900,000
未収金	0	0	0	未払費用	1,901,809	1,670,982	230,827
未収補助金	3,296,000	3,296,000	0	職員預り金	900,382	756,778	143,604
前払費用	691,250	685,778	5,472	賞与引当金	6,779,333	6,136,397	642,936
				その他の流動負債	81,300	0	81,300
固定資産	163,597,439	164,331,634	△ 734,195	固定負債	14,342,320	13,822,092	520,228
基本財産	113,340,817	115,057,331	△ 1,716,514	設備資金借入金	0	300,000	△ 300,000
土地	60,312,050	60,312,050	0	退職給付引当金	11,682,320	11,020,380	661,940
建物	53,028,767	54,745,281	△ 1,716,514	長期預り金	2,660,000	2,501,712	158,288
その他の固定資産	50,256,622	49,274,303	982,319	負債の部合計	24,525,402	23,834,413	690,989
建物	3,347,020	3,690,130	△ 343,110	<b>純資産の部</b>			
構築物	1	1	0	基本金	40,440,959	40,440,959	0
機械及び装置	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	73,887,970	74,159,783	△ 271,813
車両運搬具	718,926	973,016	△ 254,090	その他の積立金	25,450,000	24,450,000	1,000,000
器具及び備品	2,149,222	2,628,471	△ 479,249	工賃変動積立金	300,000	300,000	0
権利	8,000	8,000	0	設備等整備積立金	150,000	150,000	0
退職給付引当資産	11,682,320	11,020,380	661,940	施設・設備整備費等 積立金備等整備積立金	25,000,000	24,000,000	1,000,000
長期預り金積立資産	2,660,000	2,501,712	158,288	次期繰越活動増減差額	127,230,102	114,632,568	12,597,534
工賃変動積立資産	300,000	300,000	0	(うち当期活動増減差額)	(13,597,534)	(16,458,767)	(△ 2,861,233)
設備等整備積立資産	150,000	150,000	0				
施設・設備整備費等積立資産	25,000,000	24,000,000	1,000,000				
差入保証金	3,980,023	3,980,023	0				
長期前払費用	251,110	12,570	238,540				
その他の固定資産	10,000	10,000	0	純資産の部合計	267,009,031	253,683,310	13,325,721
<b>資産の部合計</b>	<b>291,534,433</b>	<b>277,517,723</b>	<b>14,016,710</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>291,534,433</b>	<b>277,517,723</b>	<b>14,016,710</b>





社会福祉法人 はらからの家福祉会

平成30年度決算報告

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

単位:円

資金収支計算書			
勘定科目		法人合計	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	4,874,293
		障害福祉サービス事業収入	176,074,216
		借入金利息補助金収入	23,287
		経常経費寄附金収入	1,198,471
		受取利息配当金収入	1,409
		その他の収入	6,120,705
		事業活動収入計(1)	188,292,381
		支出	人件費支出
	事業費支出		4,615,218
	事務費支出		40,345,692
	就労支援事業支出		5,059,672
	支払利息支出		23,287
	その他の支出		0
	事業活動支出計(2)		174,328,566
<b>事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)</b>	<b>13,963,815</b>		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	1,300,000
		施設整備等寄付金収入	0
		固定資産売却収入	0
		その他の施設整備等による収入	0
		施設整備等収入計(4)	1,300,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	1,200,000
		固定資産取得支出	525,420
		その他の施設整備等による支出	0
施設整備等支出計(5)	1,725,420		
<b>施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)</b>	<b>△ 425,420</b>		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,896,132
		拠点区分間繰入金収入	4,271,570
		その他の活動による収入	3,660,000
		その他の活動収入計(7)	9,827,702
	支出	積立資産支出	3,716,360
		拠点区分間繰入金支出	4,271,570
		その他の活動による支出	1,101,712
		その他の活動支出計(8)	9,089,642
<b>その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)</b>	<b>738,060</b>		
予備費支出(10)	0		
<b>当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)</b>	<b>14,276,455</b>		
前期末支払資金残高(12)	110,362,754		
<b>当期末支払資金残高(11)+(12)</b>	<b>124,639,209</b>		

\*紙面上、当期合計のみ表示

事業活動収支計算書			
勘定科目		法人合計	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	4,874,293
		障害福祉サービス事業収益	176,074,216
		経常経費寄附金収益	1,198,471
		その他の収益	5,946,719
		サービス活動収益計(1)	188,093,699
		費用	人件費
	事業費		4,615,218
	事務費		40,060,527
	就労支援事業費用		5,761,144
	減価償却費		2,543,079
	国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 1,571,812
	サービス活動費用計(2)	176,997,729	
	<b>サービス活動増減差額(3=1-2)</b>	<b>11,095,970</b>	
	サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益
受取利息配当金収益			1,409
その他のサービス活動外収益			173,986
費用		サービス活動外収益計(4)	198,682
		支払利息	23,287
		その他のサービス活動外費用	0
サービス活動外費用計(5)	23,287		
<b>サービス活動外増減差額(6=4-5)</b>	<b>175,395</b>		
<b>経常増減差額(7=3+6)</b>	<b>11,271,365</b>		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	1,300,000
		施設整備等寄附金収益	0
		固定資産売却益	0
		その他の特別収益	2,400,000
		特別収益計(8)	3,700,000
	費用	基本金組入額	0
		固定資産売却損・処分損	73,832
		国庫補助金等特別積立金取崩額	(1)
		国庫補助金等特別積立額	1,300,000
		特別費用計(9)	1,373,831
<b>特別増減差額(10=8-9)</b>	<b>2,326,169</b>		
<b>当期活動増減差額(11=7+10)</b>	<b>13,597,534</b>		
前期繰越活動増減差額(12)	114,632,568		
<b>当期末繰越活動増減差額(13=11+12)</b>	<b>128,230,102</b>		
その他の積立金積立額(14)	1,000,000		
<b>次期繰越活動増減差額(15=13-14)</b>	<b>127,230,102</b>		

\*紙面上、当期合計のみ表示

## さつき旅行 in 群馬 & フラッツ1泊旅行 in 千葉

毎年恒例の東元町商店会の皆さん、AnnBeeの皆さんと群馬方面へ旅行に行ってお参りました。

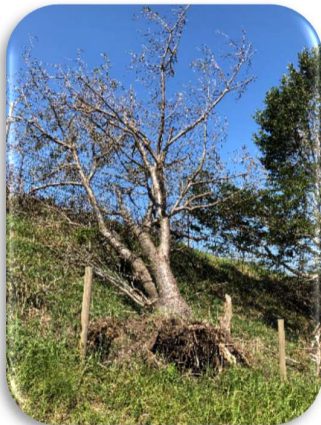


だるま絵付け体験しました！

博物館内は迫力がありました。



10月2・3日で千葉県鴨川市方面へ旅行に行ってお参りました。怪我もなく無事に旅行を楽しむことができました。



台風の爪痕が残っていました。少しでも力になればいいと思っていましたが、私達こそ千葉パーリーに元気を頂きました。

皆で蜂の部屋を拝見しました

マザー牧場でBBQ！  
お肉を食べて元気一杯！



館山で鯛しゃぶ！千葉を満喫できた二日間となりました☆



# はらからの家福社会賛助会コーナー

はらからの家福社会賛助会は、社会福祉法人はらからの家福社会の運営の維持・発展のために支援・協力することを目的として、主に財政的支援・協力の活動を行っています。

当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間1口2千円からで何口でも可能です。会員の皆様には「われら同胞(本誌)」を送付しているほか、年に一度懇談会を開催し、会計報告・活動報告を行っております。皆様の会費は毎年取りまとめてはらからの家福社会に寄付させていただいております。

入会を希望される方は、下記口座に会費をお振込ください(同封の振込用紙も使えます。)

郵便振替口座番号  
00180-8-130179  
加入者名：はらからの家福社会賛助会

会費を納入いただいた方の名前を本誌に掲載させていただいております。

匿名希望の方はその旨通信欄にお書きください。

## <平成31年度4月から7月の間に賛助会費をご納入頂いた皆様(順不同 敬称略)>

荒田 寛 石川 義博 大谷 泰造 桂田 稔彦 河崎 弘太郎 神崎 弘恵 熊谷 寿子 小林 和代  
小宮 弘隆 佐藤 久夫 末盛 三枝子 高見 法孝 丹野 章子 中村 豊 野々瀬 悟子 萩原 久丸  
服部 森彦 濱野 信一 春口 明朗 藤田 英親 藤野 利太郎 峯岸 桂一 宮城 伸子 米陀 悦子  
株式会社円グループ 日本聖公会 立川聖パトリック教会 匿名8名

### 第33回精神保健福祉講座

日時 令和2年2月22日(土)

会場 東京都立多摩図書館 セミナールーム

資料代 300円

テーマ 国分寺市の福祉サービスのあり方とは

～障害者・児童・高齢者も住みやすい街へ～(仮)

内容 高齢者の親世代が障害のある壮～中年期の子の世話をする、という「8050問題」が注目されています。親亡き後の生活はどのようになるか。今まで社会との繋がりがなかった家庭に対して、どのような関わりが出来るのかを考える必要があります。様々な社会問題を提起している大熊由紀子氏を講師としてお迎えし、障害福祉サービスと介護保険サービスの協働など、現代日本がこれからどう展開していけばいいのかの話題提供をして頂き、今後のより良い暮らしについて必要なこととは何かを考えていく機会として開催します。

※詳細は今後、掲載予定のはらからの家福社会ホームページ「お知らせ」よりチラシをダウンロードして頂き、ご参照ください。

【編集人】社会福祉法人はらからの家福社会

〒185-0021 東京都国分寺市南町3-4-4 TEL 042-323-5637

【発行人】障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102

【定価】¥120

<編集後記>

木枯らしも吹き、これからさらに気温が下がって寒くなりますね。皆様風邪等ひかないよう、お体をお大事になさってください。

編集委員一同